

# 花咲きホールからのお知らせ

TEL 36-2323  
FAX 36-2777

## チケット好評発売中

### 0歳からのクラシックコンサート ～マリンバ・ピアノ・トランペット三重奏コンサート～

- ▶ **出演** 浜まゆみ(マリンバ)、新居由佳梨(ピアノ)、高見信行(トランペット)
- ▶ **公演日** 12月16日(土) 13時30分開場 14時開演
- ▶ **場所** 花咲きホール
- ▶ **入場料** 一般1,000円 高校生以下500円  
全席自由 未就学児入場無料  
※売り切れの際はご了承ください。
- ▶ **主催** 市教育委員会
- ▶ **協力** 花咲きホールボランティア



浜まゆみ(マリンバ)



新居由佳梨(ピアノ)



高見信行(トランペット)

## 山県市役所ロビーコンサートの出演者募集

生の良質な音楽を皆さんにお届けしませんか。  
身近に、気軽に、音楽を楽しんでもらいましょう。

- ▶ **演奏場所** 市役所 1階ロビー
- ▶ **開催日** 原則月1回 市役所開庁日の平日
- ▶ **演奏時間** 以下のいずれかの時間
- ・ランチタイムコンサート12時～12時45分
  - ・トワイライトコンサート17時15分～18時  
(平成30年4月～9月の夜間窓口開設日)

▼ **申込方法** 花咲きホールへ  
問い合わせてください。

## 花咲きホールの貸し館利用について

- ▶ **開館時間および休館日**
- 開館時間** 9時～17時
- 休館日** 毎週月曜日(月曜が祝日の場合、翌日)  
祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月3日)
- ▶ **利用可能施設**
- ステージ、多目的ホール(客席数350席)、控室  
ミーティングルーム

使用場所	使用単位	使用料
多目的ホール(客席)	1時間	1,728円
ステージ		432円
控室		432円
控室(1/2)		216円
ミーティングルーム		216円

※利用料金などについては、花咲きホールへ問い合わせてください。

### 山県市役所ロビーコンサート ランチタイムコンサート PIANO演奏

- ▶ **日時** 12月22日(金) 12時～12時45分
- ▶ **出演者** 河村飛鳥(ピアノ)
- ▶ **主催** 花咲きホール、花咲きホールボランティア

- ▶ **チケット取扱場所**  
花咲きホール 会計課  
高富・美山中央公民館
- ▶ **チケット取扱時間**  
開館時間 9時～17時  
(閉館・休館日を除く)

## 図書館からの

お知らせ

### 図書館上映会

問Tel 36-33339

シアターセットで子ども向けDVD無料上映会を行います。

▼日時 12月24日(日) 14時

▼アニメ 「ぴったんこ!ねこざかな1」(33分)

### すてきな貯金を「読書通帳」に残しませんか

「読書通帳」は、図書館で借りた本の感想などを書き込むもので、読書の記録として残すことができます。たくさんの本を読んで知識や感動を貯めてください。

「読書通帳」は、図書館本館や各図書室のカウンターにあります。



表紙デザイン  
絵本作家 高島純さん(市内在住)

## 古田紹欽記念館からののお知らせ

問Tel 36-1023

### 新春茶会とオカリナ・ピアノコンサート

「新春茶会」と毎年好評の「オカリナ・ピアノコンサート」を合同で開催します。新春らしい茶会のしつらえをお楽しみいただくとともに、オカリナ・ピアノのなごやかな演奏もご鑑賞ください。

▼日時 平成30年1月14日(日)

茶会 ①12時45分～ ②15時～  
コンサート 13時40分開場  
13時50分開演

※茶会①②のどちらかを選んでください。

▼場所 古田紹欽記念館 第二展示室、和室

▼定員 40人(要予約)

※定員になり次第締切

▼参加費 700円(呈茶込み)

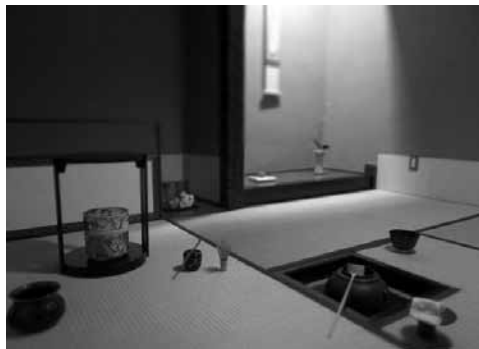


### 臨時休館日のお知らせ

館内の資料整理と蔵書点検作業などのため次の日時を休館日とします。

#### ▼休館日

12月20日(水)～27日(水)  
1月12日(金)～13日(土)  
1月14日(日)のみ  
9時～12時



## 紹欽さんの○△□

美しく生きることを生涯追求した古田紹欽さんが私たちに問いかけるものとは…?

### ● 今月のひびく

紹欽さんが心の師と仰ぐ禅僧の一人に仙厓和尚がいます。仙厓和尚はよく書画をし、詩文にも秀でた方で、その遺墨が多数今日に残っています。その書画は、いかにも禅者らしい洒脱さがあり、加えて画賛などには鋭い警句がみうけられます。そんな仙厓和尚の画賛に「父死、子死、孫死」があります。

江戸時代文化文政の頃、お正月に役人から、なにかめでたいことを書いてほしいと頼まれ書かれたものです。役人は「死」なんて縁起が悪いと怒りましたが、これに対し仙厓和尚は「孫死して子に先立たず、子死で親に先立たず、家に若死にがないほめてたいことがこの世にあるかのう」と語り、役人は意味を理解して喜んで書を持って帰ったという逸話があります。紹欽さんは、この賛に妙なるものがあることを実感し、人間の命というものは必ずしもこのように順序よくいくとは限らないけれど、この人間世界であつてめでたいことといえば、順序よく死んでいくことにほかならなかつた、ご自身も「親死 子死 孫死」の賛をかかれています。

そのお軸を1月から和室の床の間に飾る予定です。

参照/生きる智慧 日常の禅

徳間文庫